

交遊抄

キャスター

子さんも交えて食事や旅行に行くようになつた。

駆け出しのころ、たびたび番組に出演していただいたのが歴史学者の山内昌之さんだ。「番組の終わり時間は決まっていないから、海外から入ってくる映像を見ながらできるだけゲストとつないで！」とディレクターの声。事態は冷戦終結やソ連崩壊。「そんな乱暴な」と心の中でつぶやき、恐らく山内教授に救いを求めるような目を向けていたに違いない。いつも想定をはるかに超えた深いお話を聞いていただき、起きている事態の大ささを生放送のされなか実感できた。

出演いただいた方と家族ぐるみのお付き合いをするようになるのはまれだが、いつしか奥様の靖スター）

历史家と亡き妻

国 谷 裕 子

その靖子さんが昨年、急逝された。からりとした性格ながら控えめで、自らを多く語らなかつた靖子さんがロシア語など語学が堪能でロシア革命の研究者として山内教授の研究仲間だったことを「くなられてから知つた」。靖子だったらこんな時どうするだろうか？」「亡き妻への深い尊敬の念をたたえながら自問自答される山内さんを通して、これから私はにとって靖子さんはますます身近な人になつていくようになる。〔ここにや・ひつ〕=キャスター